

平成30年度湯山支部活動報告

本年度、湯山支部のOBは9名、湯山小学校の児童409名・教職員27名、湯山中学校の生徒173名・教職員23名です。

湯山支部では、これまで年に一度「教育懇談会」を実施してきました。

今年度は、名称を新たに「湯山の教育を語り合う会」とし、会員相互の親睦を図り湯山の教育を語るため、湯山地区の教育会OBと湯山小・中学校の教員が、11月30日(金)夜、校区に程近い「あじ彩」に集まりました。

最初に、両校の校長から学校の様子がありました。

図らずも、『夢』という言葉が両校の教育目標に共通して掲げられており、小中の連携・交流を図っていききたい旨等の話がなされました。

会の参加人数の減少は、ここ数年間心配の種とされていますが、今回は参加の呼びかけもあり、OB9名中5名、小学校教員7名、中学校教員5名の計17名の参加があり、にぎやかに歓談しました。

参加人数の減少は、どの支部においても課題とされています。高齢化とともに、65歳まで定年延長と再就職、教育会への入会辞退が挙げられます。

現状の中で少しでも多くの参加を得られることを考え、まずは学校の教員の都合を最優先しています。比較的時間帯等の制約のないOBではありますが、仕事を持つOBでは開催時間に間に合わないなどの実情もあるようです。

(写真) 湯山の教育を語り合う会で懇談中。平成30年11月30日支部長撮影

